

広島安佐ロータリークラブ

2023-2024 年度 地区補助金事業報告
プロジェクト番号 04



1. プロジェクト名「ケニア共和国の KIBERA SEVEN KIDS（コミュニティスクール）に 4,000 冊の絵本を寄贈 する」

プロジェクトの概要

当クラブ提唱崇徳高校 IAC が、2022 年 5 月から開発途上国の子どもたちの識字率を上げるために、高校生が手作り絵本を送ることを目的に、クラウドファンディングに取り組んできた。2022 年 11 月には目標額 50 万円を超え、2023 年 2 月には現地で絵本を 3000 冊印刷し、ケニアのスラムに住む子どもたちに渡すことができました。

これを踏まえて、当クラブが一般社団法人 A-GOAL・崇徳高校 IAC の協力の基、ケニアの首都ナイロビにあるキベラスラム（アフリカ最大のスラム）の経済的理由で公立・私立の正規の小学校へ通えない子どもたちが通っているコミュニティスクールへ、子どもたちの識字率向上・衛生や健康に関する情報提供・知らなかった世界を知る見る喜びを与えられる絵本を作成し寄贈し、交流出来る様にします。

実施報告

2023年(令和5年)11月17日(金曜日)

制作中のイラストを広げる生徒と
広島安佐RCのメンバー

自作絵本ケニアの子どもに

崇徳高インターアクト部
言葉の学習「楽しみながら使って」

国際的なボランティア活動にも取り組む崇徳高（広島市西区）のインターアクト部が、ケニアのスラムに暮らす子どもたちに絵本の贈り物を届ける活動をしている。言葉の学習に役立ててもらおうと昨年に始め、今回は2作目。クリスマスに間に合うよう完成を急ぐ。贈り物は首都ナイロビ市内の子どものために、内陸で海を知らない子どもたちばかりのため、絵本はアフリカの動物や風景がテーマの「海の生き物を紹介する内容」に決めた。部員約10人が物語を考え、イラストは漫画研究部の部員が担当。英語とスワヒリ語で文章を入れる。生徒は、現地で教育支援活動をする一般社団法人（A-GOAL）の協力も得て、データを送ってケニアで約3千冊を製作して配る。10月半ばに打ち合わせがあり、3年砂川みづきさん（18）は「楽しみながら勉強に使ってくれるとうれしい」と期待した。

活動は昨年5月に始め、第1作はクラウドファンディングで資金を集めたが手続に苦労した。今回は広島安佐ロータリークラブ（RC）が資金調達を支援した。両者で来年以降も続けたい。（新井 恭子）

